

慣れ親しんだ学び舎を巣立つ

第66回卒業証書授与式

2月28日(金)、本校総合学科3年生71名が卒業式を迎えました。開式宣言のあと、国歌・校歌を斉唱し、校長から各クラス代表へ卒業証書授与。校長式辞、来賓祝辞、在校生送辞(生徒会長 安川泰志郎くん)、卒業生答辞(前生徒会長 沖野優憲くん)、卒業記念品贈呈と続き、「蛍の光」斉唱で別れを惜しみました。

たいへん静粛で厳かな雰囲気の中、3年生71名は胸を張って堂々と慣れ親しんだ学び舎を巣立って行きました。卒業生の皆さんの今後の益々の活躍を祈念します。

卒業にあたって、前日の27日(木)には、在学中に様々な活躍をした生徒の表彰式を行いました。表彰を受けた生徒は、下記のとおりです。

- 1 全国総合学科高等学校長協会表彰・・・3年C組 松本 早紀
- 2 部活動表彰
高体連一般表彰(全国高等学校総合体育大会・国民体育大会出場者)
3年A組 西垣 大雅 3年C組 黒田 尚志
3年C組 嶋貫 雄太 3年C組 山添 真志



- 3 校長表彰
(1) 皆勤賞(3年間無欠課・無欠席)
3年A組 田村 環奈 3年A組 西垣 大雅
3年C組 芦田 翼 3年C組 黒田 尚志
3年C組 嶋貫 雄太 3年C組 吉田 純香
(2) 精勤賞(3年間欠課5時間以内)
3年B組 中川 颯馬 3年B組 松本 恵語
3年B組 安見 風朝 3年C組 平野 貴史 3年C組 山崎 絢音



- (3) 特別活動賞(全国高等学校総合体育大会・国民体育大会出場者等、特別活動に顕著な業績のあった者)
カヌー一部 3年A組 西垣 大雅 3年C組 黒田 尚志
3年C組 嶋貫 雄太 3年C組 山添 真志
(4) 読書表彰(3年間で学校図書館から150冊以上の貸し出し)
3年A組 住友 天雅 3年A組 福井 理世 3年C組 奥田 彩
3年C組 山崎 絢音

(敬称略)

介護職員基礎研修課程 修了

今年度卒業生のうち、福祉系列を選択していた6名は、「介護職員基礎研修課程」を修了した証として、「修了証明書」を授与されました。

「介護職員基礎研修」は、卒業認定以上に厳しい条件があり、これを修了したことによって、介護福祉士国家試験の受験資格が得られます。6名は4月からそれぞれ地元の介護福祉施設等で専門を活かした仕事に就きつつ、来年度の国家試験一発合格をめざして、勉強を続けていきます。



《文化に親しむ月間》

2月3日(月)から28日(金)まで、「文化に親しむ月間」として、文化系部活動の作品展示のほか、授業で取り組んだ書道や絵画、陶芸など、さまざまな校内展示を行いました。

また、2月19日(水)には、軽音楽部と吹奏楽部もライブを行い、多くの生徒が鑑賞に参加しました。



一年の成果を披露しました

1年生[社会と情報]プレゼンテーション



1年生「社会と情報」の授業では、プレゼンテーション能力の向上を目指し、一年間の学習の最後に発表会を行いました。内容は、環境問題や趣味・特技、進路など各自が興味のある題材について図書館やインターネットで調査し、10枚程度のスライドにまとめたもので、持ち時間は1人5分程度でした。

大前て何かのややく発表することは、今後身に付けなければならない大切な能力です。生徒達は、額に汗しながらリハーサルや資料の準備・発表に取り組み、ふだんの授業とは違った緊張感のなか、各自の成果を発表しあいました。

「久美高・輝き・プラン」生産科学系列2年生校外学習

・コメの食味検査を初体験

1月31日、京都府農林水産技術センター 丹後農業研究所にて『丹後地方の農業の現状や課題を学び、農業分野における試験研究の課題設定の方法や調査研究の進め方、調査データのまとめ方や考察の方法等のノウハウを学ぶ』ことを目的として、本校2年生10名が参加しました。

はじめに河瀬弘一所長をはじめ4部門の研究員の方に、丹後地方の農業の現状や課題、今年度の調査研究の中身を詳細にわかりやすく紹介していただきました。その後、米の食味官能試験を体験、同一条件下で炊飯した炊きたての米2種類を「外観」「香り」「味」「粘り」「硬さ」「総合」の6項目について各自比較を行いました。日頃なじみ深い『コシヒカリ』と食味良好米として最近注目されつつある『つや姫』の2種類の米の比較を行い、生徒達も初めての経験に苦戦しつつ、改めて『京丹後産コシヒカリ』の食味の良さを再認識することができ、とても刺激的で実りある時間となりました。



・試験成績報告会 参加

2月22日、平成25年度京都府農林水産技術センター 農林センター丹後農業研究所試験研究成績報告会に出席しました。

この試験研究成績報告会は、毎年地域農業の課題に対応する新技術に農業研究所の研究員が取り組み、研究成果を広く農業自営者や農業関係機関に報告普及するというもので、今回も地元の農業自営者をはじめ、丹後農業実践型学舎の生徒さんや農林行政関係者など、大変多くの参加がありました。

本校で農業を学ぶ生徒が全員参加するのは初めてでしたが、農業自営者に混じり若い視点で実践研究報告や非常に熱のこもった農業自営者の農業実践における意見交換を直に聞くことができ、大きな刺激を受けました。これらの経験を積み重ね「地域農業の現状や課題を身近にとらえ、自らの食と連動して農業を考える学習」を更にすすめていきたいと考えています。



地域とともに歩む教育活動

将来を見据えて

1年生[社会人との交流会]

2月12日(水)、[社会人との交流会]を実施しました。社会人交流会は、生徒主体の手作りの交流会で、今年は、調理、理美容、看護、消防、介護、製造業、自動車整備の7分野に分かれ、久美浜高校の卒業生を中心とした7名の講師をお招きし、実施しました。

生徒達は、1月かホームルームや「産業社会と人間」の授業の中で、「案内係」「司会・進行係」「挨拶係」「職業調べ係」「質問係」「会場準備係」など各係に分かれて準備を進めてきました。

当日は、それぞれが、自分の役割を責任を持って進めました。講師の先生方も講演や実技、実習など熱心に御指導をいただき、あっという間に予定の1時間が過ぎ、とても充実した学習時間を過ごすことができました。



高校の学びを出前授業

・理科[豆腐作り体験]



2月25・26日、京丹後市立五箇小学校(3年生)と京丹後市立新山小学校(3年生)で出前授業(豆腐づくり)を実施しました。

五箇小学校では全員が牛乳パックを利用して豆腐をつくりました。また、新山小学校では自分たちが育てた大豆を使った豆腐づくりでした。

小学校3年生では国語の授業で「すがたをかえる大豆」という教材があり、豆腐の作り方は知っていましたが、実際に作るのは初めてということで、みんな興味津々でした。

にがりの苦さを体験したり、できた豆腐の試食など、楽しい時間を過ごしました。

・福祉科[手話ってなあに? ~聴覚障害者 理解~]

2月19日、京丹後市立鳥取小学校4年生の授業で、本校の福祉科教諭と、「京丹後市聴覚言語障害者センター」の方々で出前授業を行いました。福祉について一緒に考えるところからはじめ、ジェスチャーゲームで「聞こえず、言葉がなくても」伝えたい気持ちがあれば通じることを体感。手話で簡単な挨拶と自分の名前も覚えめました。最後に、「手話や聞こえない人について関心を持つことが、聞こえない人にとって何よりうれしいこと。福祉は皆が幸せな社会を作るための学習であること」を確認しました。

